

第10回 日・韓・中環境創造型稲作技術国際会議について ～水田生物の多様性を活かした有機稲作～その現状と普及の課題

本市では、コウノトリ育む農法を中心とした環境創造型農業の普及・拡大を図るとともに、環境経済戦略による環境と経済が共鳴するまちづくりを進めている。

今夏開催される第10回日・韓・中環境創造型稲作技術国際会議において、中貝市長がこれらのまちづくりについて講演するとともに、JAたじまが環境創造型稲作の現状と課題について報告する予定である。

1. 第10回 日・韓・中環境創造型稲作技術国際会議

(1) とき 8月5日(水)～6日(木)

(2) ところ 韓国 キョンサンブクドウルチン 慶尚北道蔚珍郡白巖 ハンファコンド

(3) 主催 韓国 慶尚北道 ウルチン 蔚珍郡

(4) 趣旨

有機農業は、
食の安全
地域の食文化の復権
生物多様性の回復
環境の復活再生に貢献
食料の自給率を高める
世界の平和に直結する

という共有認識を持ち、技術交流をしながら、今後の課題を考える。

(5) 開催経緯等

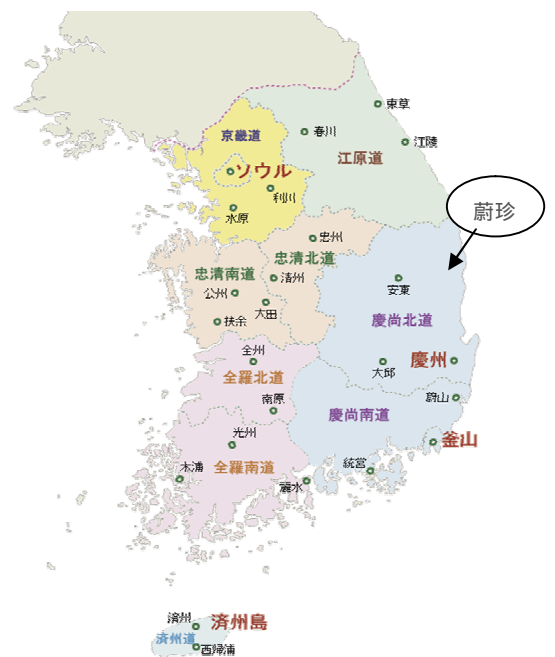
1998年(平成10年)に開催された第1回環境保全型稲作全国集会を契機に、2000年に第1回日・韓・中環境保全型稲作国際交流会議が韓国において開催された。

2010年開催の第11回会議は、本市で開催する予定

(6) 参加者

環境創造型農業関係団体など 約250人(予定)

〔日本の参加団体〕NPO 法人民間稲作研究所、NPO 法人田んぼ、
NPO 法人生物多様性農業支援センター、
(株)アレフ、日本雁を保護する会など



【日程等】

日付	時間	日程
8月5日 (水)	8:00-12:00	蔚珍 有機ほ場の生きもの調査、有機稲作現地視察
	13:30-14:00	開会式
	14:00-15:30	第1部 基調講演 1.韓国 ソ・ジョンヨク(蔚珍世界新環境農業エキスパート諮問委員長) 2.日本 中貝宗治(兵庫県豊岡市長) テーマ「コウノトリと共に生きる～豊岡の挑戦～」 ・コウノトリ生息のための環境整備・市民文化の創造 ・コウノトリ育む農法の確立など、環境保護と経済メリットが 同時に成り立つ施策の推進 などの 3.中国 ジョ・コウ(吉林省有機農産品協会)
15:50-18:50	第2部 東アジア環境創造型稲作の現状と課題 1.韓国 ジョン・ミンチョル 2.日本 ^{いなば みつくに} 稲葉 光國 3.中国 キム・ギルス 4.韓国 イム・ジョンギル 5.日本 ^{なかのせいこう} 中野成晃(JAたじま 専務) 6.韓国 パク・インジャ	
8月6日 (木)	8:00-9:30	蔚珍 田んぼも生きもの調査の結果報告
	9:30-10:00	映画：田んぼ
	10:15-12:00	シンポジウム 東アジアの有機農業 その伝統と発展の方向性をめぐって 司会 :キム・シュンスク、 ^{いなばみつくに} 稲葉光國 パネラー :日本(原耕造、 ^{たてのひろゆき} 館野広幸) :韓国(カン・ディエン) :中国(キム・ギルス、キム・ケイトク)
12:30-13:00	閉会式 会議宣言文の発表 次期開催国メッセージ 兵庫県豊岡市、JAたじま	

〔問合せ〕コウノトリ共生部農林水産課 23-1127